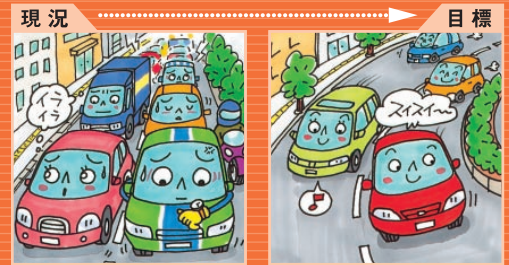


# 交通渋滞による イライラを少なくします



目標値と実績値

渋滞の指標(渋滞損失時間\*1)

H15 基準実績

9,930  
万人時間

未達成

H17  
目標 0.9%削減  
実績 0.6%削減

H18 目標

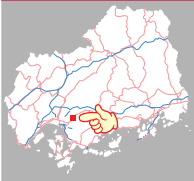
1.3%削減

H19 目標

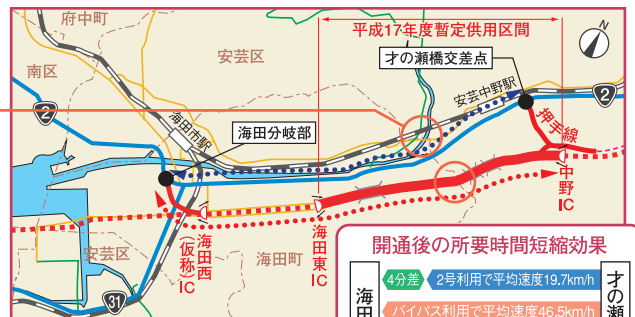
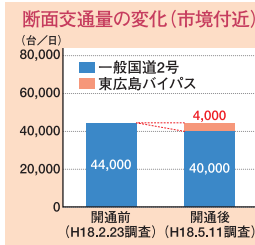
1.7%削減

昨年度の達成度

## 一般国道2号 東広島バイパス(中野IC~海田東IC)及び市道安芸1区押手線(暫定供用)

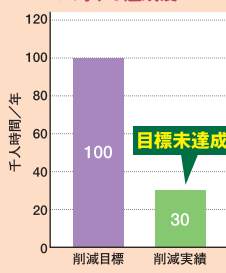


平成18年3月25日、東広島バイパス(中野IC~海田東IC)及び市道安芸1区押手線の供用により、一般国道2号の交通が約4千台転換し、朝夕ピーク時の移動時間が約4分短縮しました。しかしながら、当初の計画交通量を下回ったため渋滞損失の目標削減量を達成できませんでした。



### 目標未達成要因と今後の対策

渋滞損失時間の目標削減量に対する達成度

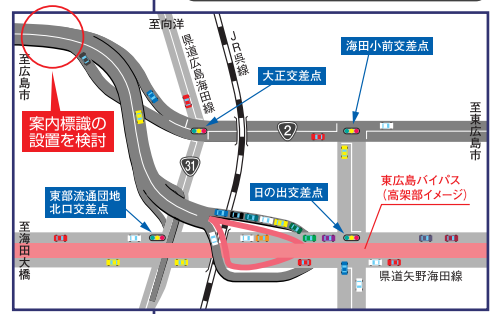


#### ●目標未達成の要因

一般国道2号(上り方向)を利用する交通は、一般国道31号分岐点に至るまでにバイパス案内標識がないため、バイパスに対する認知度が低い可能性があります。また、部分的な供用であり、バイパスの早期全線供用が望まれます。

#### ●今後の対策

バイパスの利用促進のため、案内標識の設置やバイパスの早期全線供用に向け取り組みます。



## Topics

### 小学生を対象としたTFP\*3調査

昨年度の取り組み

平成17年9月より福山市立駅家西小学校5年生を対象にTFP調査を実施しました。「総合的な学習」の中で環境問題に取り組み、クルマ利用の習慣を見直し、CO2を減らすための行動プランを作成しました。また、平成18年1月14~15日には駅家西小学校5年生による環境問題学習発表展示会を実施しました。

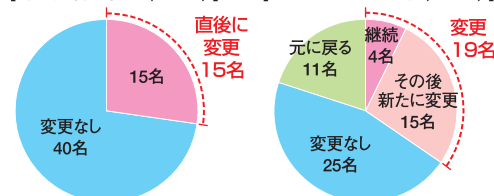


TFP調査状況(駅家西小学校5年生)

TFP調査の結果約15名の方が行動プランを変更しました。また、効果の提示を行うことで新たに変更した方が15名増加しました。

【行動変容の状況(H17.9)】

【追跡アンケート結果(H18.1)】



平成18年1月には駅家西小学校5年生による環境問題学習発表展示会を実施し、学習成果や調査結果を発表・展示しました。

昨年度の成果

平成17年度は、東広島バイパスによる効果が予想通り発現しなかったため、目標を達成することが出来ませんでした。

代表的な事業	目標 (千人時間/年)	実績 (千人時間/年)	評価	事業の説明
一般国道2号 東広島バイパス及び市道安芸1区押手線	100	30	⊖	バイパスの利用交通量が当初の計画交通量を下回ったため、渋滞損失の目標削減量を達成することができませんでした。
一般国道185号 野呂山公園入口交差点	60	110	⊕	交差点西側流入部に右折レーンを設置することにより、交差点を起点とする渋滞が解消しました。
広島都市圏モビリティマネジメント※3	—	—		広島市安佐南区の一部の地域の皆様にクルマに過度に依存するライフスタイルについて改めて考えて頂く取り組みにご協力頂きました。
福山都市圏小学校を対象としたTFP調査	—	—		福山市立駅家西小学校5年生と総合的な学習の中で環境問題に取り組み、CO2を減らすための行動プランを作成しました。

※評価マークの説明は18ページを参照してください。

今年度の取り組み

現在進めている各種バイパス整備などの進捗ははかっていくとともに、昨年度の結果を踏まえた検討をします。

代表的な事業	目標 (千人時間/年)	事業の説明
一般国道54号 佐東拡幅	20	一般国道54号の古川土地区画整理事業内のうち1.2kmを6車線化します。
一般国道2号 三原バイパス	140	一般国道2号三原バイパス時広ランプ～中之町ランプ間1.6kmを2車線暫定供用します。
一般国道54号 可部バイパス	230	一般国道54号可部バイパス県道南原峡～市道山倉線間1.8kmを2車線暫定供用します。
一般国道317号 生口島道路	20	一般国道317号生口島道路尾道市瀬戸田町萩～尾道市因島洲江町間6.5kmを2車線暫定供用します。
広島高速1号線(安芸府中道路)延伸	60	広島高速1号線(安芸府中道路)馬木料金所～山陽自動車道広島東IC間2.3kmを4車線供用します。
ノーマイカーデー※2 ひろしま2006	—	広島都市圏を対象に、毎月22日を「マイカー乗るまっデー」(マイカー利用を控える日)とし、都市圏の環境問題、渋滞問題に取り組みます。
福山都市圏ベスト運動	—	福山都市圏を対象に、環境にやさしい通勤方法を考える「ベスト運動」の拡大に向けて、重点的な広報活動を実施します。

※指標値のない事業については、短期的な施策のため指標の対象とはなっていません。

平成18年度の取り組み

一般国道54号 佐東拡幅



一般国道54号佐東拡幅は、一般国道54号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、広島市安佐南区緑井一丁目から広島市安佐南区八木五丁目に至る延長約2.5kmの拡幅事業です。



城南中入口交差点より  
広島方面を望む



城南中入口交差点より  
可部方面を望む

現在、改良、橋梁工事を促進しており、平成18年度中に古川土地区画整理事業内の1.8kmのうち1.2kmが開通します(0.6kmが供用済み)。この開通により、当地区の交通渋滞の緩和が図られるとともに、地域の活性化・産業活動の効率化が期待されます。

期待される整備効果

拡幅(6車線化)により、一般国道54号の緑井地区の慢性的な交通渋滞が緩和されます。

削減目標 約20千人時間/年

平成18年度の取り組み

一般国道54号 可部バイパス(7-2工区)



一般国道54号可部バイパスは、一般国道54号の朝夕の慢性的な渋滞や交通事故の多発などの問題を解消することを目的とした、安佐北区可部南一丁目から同区大林町に至る延長9.7kmの4車線道路です。現在までに、起点側から県道南原峡線までの4.2kmを暫定2車線で供用済みであり、平成18年度は県道南原峡線から市道山倉線までの1.8km区間を暫定供用します。



南原トンネル(H17.9貫通)

期待される整備効果

バイパス整備により国道54号桐陽台団地入口交差点を中心とした、朝夕の慢性的な渋滞が緩和されます。

削減目標 約230千人時間/年